

国際ブリーフセラピー協会 第18回学術会議 山形大会

ブリーフセラピーの“これまで”と“これから”
AIと共生する心理社会的支援は
いかにして可能か



招待講師

東畑 開人 先生

白金高輪カウンセリングルーム



2026年9月19日(土)～20日(日)

山形大学 小白川キャンパス

〒990-8560 山形県山形市小白川町1-4-12 山形大学小白川キャンパス 基盤教育2号館および3号館

詳細については裏面と大会HPをご確認ください。

大会HPはコチラ

<https://ifbt-academic-conference-18th.jimdofree.com/>

大会長：伊井 理人（短期療法を学ぶ会山形 会長）

国際ブリーフセラピー協会第18回学術会議事務局

〒990-8560 山形県山形市小白川町1-4-12 山形大学 佐藤宏平研究室内

E-mail: ifbt.ac.japan@gmail.com



The 18th conference of International Foundation of Brief Therapy 国際ブリーフセラピー協会 第18回学術会議 山形大会



さくちゃん&べにちゃん

本大会のテーマは「ブリーフセラピーの「これまで」と「これから」―故きを温ねて新しきを知る―」とさせていただきます。さまざまなプログラム、WSを通じて、ブリーフセラピーのこれまでとこれからについて皆様と一緒に考えていけたらと思っております。

連休最初の2日間となりますので、大会後の3日間で山形観光や東北観光をされるのもよろしいかと思いますし、自宅に戻られてゆっくり過ごされたり家族サービスをされたりするのもよろしいかと思います。

大会プログラム

B1 GRAND-PRIX 2026

「ブリーフセラピストNO.1選手権」

全国各支部の選抜メンバーがブリーフセラピーの技術を競い合い、学びあう。

当協会の文化とも呼ばれ、毎年各支部代表が熱くぶつかり合う名物企画です。

今年からセラピー中のAIの使用も正式に認められました。

観客の皆様の投票によってグランプリが決まります。ぜひ現地で熱い時間を共に体験してください。

大会記念シンポジウム

『短期療法における温故知新―変わらないものと変わりうるもの―』

話題提供1

奥野 雅子 先生（石巻専修大学）

生田 倫子 先生（神奈川保健科学大学）

石井 宏祐 先生（佐賀大学）

花田 里欧子 先生（東京女子大学）

話題提供2（コメント）

東畑 開人 先生（白金高輪カウンセリングルーム）

指定討論

長谷川 啓三 先生（日本家族カウンセリング協会・東北大学名誉教授）

若島 孔文 先生（東北大学大学院）

対面ワークショップ

WSⅠ 長谷川 啓三 先生（日本家族カウンセリング協会・東北大学名誉教授）

「ミラクルクエスションの原理と展開」

WSⅡ 戸田 さやか 先生（(株)ファミワン／はらメディカルクリニック）

「これ、ブリーフセラピーになってる？～不安を自信に変えるブリーフセラピーのおさらい～」

WSⅢ 浜野 先生

「児童福祉領域のブリーフセラピー」

WSⅣ 平泉 拓 先生（宮城大学）

「遠隔心理療法の理論と実践：オンラインを活用した心理支援のためのガイド」

WSⅤ 岩本 脩平先生

「教育現場におけるブリーフセラピー3 ～こんなときどうすればいい？（緊急支援編）～」

オンデマンドワークショップ

WSⅥ 宮崎 昭 先生（環境とところとからだの研究所）

「発達障害とSEL教育」（仮題）

WSⅦ 浅井 継悟 先生（北海道教育大学）

「シングルセッション・セラピーの歩き方：初学者のための考え方と実践の基礎」

事例発表

ポスター研究発表

自主企画シンポジウム